

4月6日（日） 令和7年度春季リーグ戦第1節2回戦

【試合結果】延長10回タイブレーク

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
奈学大	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	5
阪公大	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	4

奈良学園大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	遊	本間	4	奈良大学附属		4	1	2
2	二	河原	3	奈良大学附属		4	2	1
3	右	吉岡	4	星稜		5	1	1
4	指	森	3	市立和歌山		4	2	0
5	一	松林	4	履正社		5	3	0
6	中	小南	2	北陸		4	0	0
	打左	渡邊	4	育英		0	0	0
7	捕	守	4	下関国際		4	2	0
8	左	小田	3	駒澤大学附属苫小牧		3	0	0
	打	門野	2	中京		0	0	0
	中	中田	2	上宮		0	0	0
9	三	米井	3	大阪商業大学堺		4	0	0
投		八木	3	福井工業大学附属福井		-	-	-
		星野	4	京都外大西		-	-	-
		矢川	3	日本航空石川		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	4	0	0	1	37	11	4

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	中	根来	3	府立生野		5	1	0
2	遊	疋田	4	広島新庄		4	1	1
3	右	前田	3	須磨学園		4	2	1
4	指	京橋	4	清教学園		4	0	0
5	左	林	2	大阪明星		3	2	0
6	三	田中創	3	金沢桜丘		2	0	0
	打	小林	4	府立池田		1	0	0
	三	寺本	3	鳥取西		1	0	0
7	一	菱田	2	関西大倉		4	2	1
8	二	樋口	4	刈谷		4	2	0
9	捕	小田竜	4	県立伊丹		3	1	0
投		吉岡	3	大阪明星		-	-	-
		宮田	2	倉敷青陵		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	7	0	1	1	0	35	11	3

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
八木	7 1/3	106	32	29	10	5	0	4	3
星野	2/3	10	3	3	1	0	0	0	0
矢川	1	11	3	3	0	2	0	0	0
合計	9	127	38	35	11	7	0	4	3

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
吉岡	5 2/3	117	29	26	11	2	3	4	2
宮田	2 1/3	42	12	11	0	2	1	0	0
合計	9	159	41	37	11	4	4	4	2

【戦評】

昨日の悔しさをバネに何としても試合に勝ち、明日へ繋げようとチーム一丸となって臨みました。

本日の先発の吉岡（法３・大阪明星）は初回、持ち前のピッチングで難なく三者凡退に抑え、最高のスタートを切ります。

一方、先制点を挙げたい攻撃ですが、１・２回は相手投手の好投を前にランナーを出すことができません。

２回表、吉岡は２本の安打で二死一三塁のピンチを招きますが、落ち着いて後を打ち取り、先制点を与えません。３回表も安打でランナーを許しますが、小田竜（工４・県立伊丹）の盗塁刺により無失点で切り抜けます。

３回裏、樋口（工４・刈谷）、小田竜の連続安打でチャンスを作ります。続く根来（経３・府立生野）の放った打球が相手の失策を誘い、樋口が生還。１点先制します。さらに、主将疋田（工４・広島新庄）が完璧なスクイズを決め、１点追加します。

５回表、ここまで無失点に抑えてきた吉岡ですが、二死から四球を与えると、連続で適時打を浴び、同点に追いつかれます。さらに、続く打者に安打を放たれますが、林（工２・大阪明星）からの好返球により本塁タッチアウト。追加点を与えません。

５回裏、先頭の菱田（農２・関西大倉）がリーグ戦初安打となる二塁打を放つと、続く樋口も内野安打で出塁し、無死一三塁のチャンス。しかし、ここでスクイズに失敗、さらに後続も打ち取られ、勝ち越すことはできません。

６回表、安打、四球が重なり２点を失います。先発の吉岡はここでマウンドを降り、宮田（工２・倉敷青陵）に託します。宮田は次打者を抑え、さらなる追加点は与えません。

６回裏、前田（現３・須磨学園）の安打、林のバントヒットでチャンスを作りますが、後が続きません。７回は相手投手の好投を前に、三者凡退に終わります。

７・８回を宮田は持ち前の力強いピッチングと巧みな変化球で完璧に抑えます。

８回裏、先頭の根来から疋田、前田の３連打で１点を返します。林の内野安打でなおも一死満塁のチャンス。ここで菱田がファースト強襲の内野安打を放ち、同点に追いつきます。

９回表、四球でランナーを背負いますが、落ち着いて後続を抑えます。

サヨナラ勝利をあげたい９回裏、代わった相手投手を前に三者凡退に抑えられ、試合は延長タイブレークに持ち込まれます。

１０回表、先頭打者に犠打を決められると、次打者の内野ゴロで１点を追加されます。しかし、後続はしっかりと抑え、最少失点で切り抜けます。

勝利を掴み取り、３戦目へと繋げたい攻撃は１０回裏。相手投手に対応できず、すぐさま二死に追い込まれます。二死一三塁の状況で重盗を狙いますが、決めきれず試合終了。４－５で敗戦いたしました。